

(令和7年4月更新)

稲沢市の福祉関係者の皆様へ

超解説（17分30秒でわかる）

重層的支援体制整備事業の基礎理解

＊この資料は、稲沢市が取り組んでいる重層的支援体制整備事業の概要を
市内の福祉関係者の皆様に分かりやすく解説するために作成したものです。

（稲沢市社会福祉協議会 福祉総合相談窓口）

最初に、ここだけ『押さえて』ほしい！

重層的支援体制整備事業は

複雑・複合的な課題を抱えた困難ケースに対応すべく、

分野を超えたチーム支援体制を強化する事業

支援者（あなた）を支援する仕組みを創るための事業です！

もくじ

- 1 重層的支援体制整備事業の基礎理解**
- 2 稲沢市の取組状況**
- 3 私たちの支援体制をみんなで創るために**

1 重層的支援体制整備事業の基礎理解

1-1 そもそも、重層って何？

1-2 なぜ、重層ができたの？

1-3 重層に移行すると何が変わるの？



稲沢市社会福祉協議会
マスコットキャラクター『福ちゃん』

1-1 そもそも、重層って何？

- ・ **地域共生社会を実現するための事業**

- ・ **相談支援・参加支援・地域づくりの一体的充実を目指す事業**

令和2年の改正社会福祉法で創設（令和3年4月から施行）

『アウトリーチ等を通じた継続的支援』 『多機関協働』 も連動して実施します！

- ・ **『包括的な支援体制』を創るための事業（手段）**

⇒ **支援者（あなた）を『みんなで支える』仕組みを創るための事業です！**

1-2 なぜ、重層ができたの？

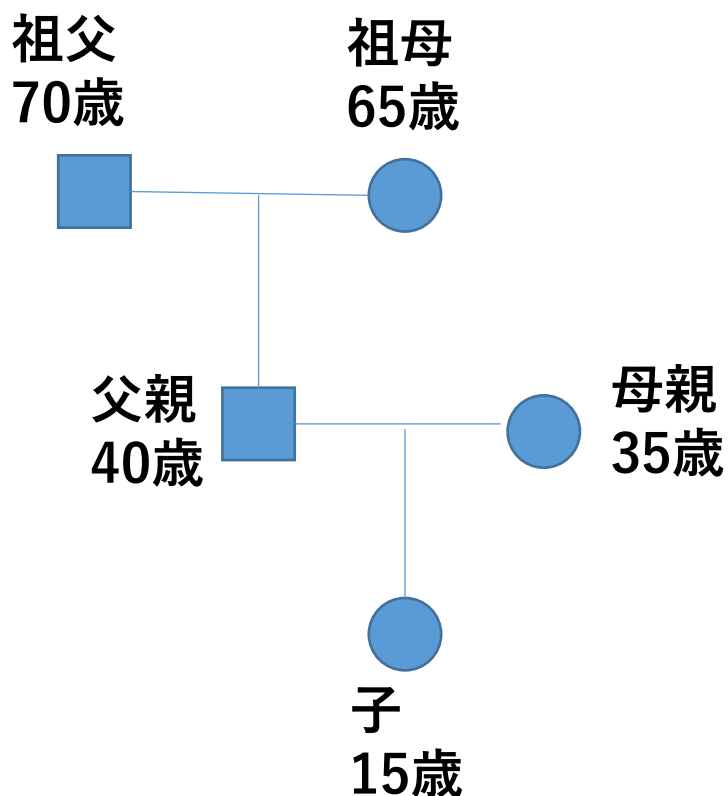
『既存の制度では、対応できない複雑・複合的な課題を抱えたケース（世帯）が増えてきたから』です！

●稲沢市でも、このような相談が増えています！

- ・ 複雑化・複合化したケース（8050、ヤングケアラー、育児と介護のダブルケア、家計破綻 等）
- ・ 制度の狭間に落ちるケース（社会的孤立、ゴミ屋敷、ひきこもり 等）
- ・ 最近、高齢者や障がい者の『住まい確保』に関する相談も増えています！

複雑・複合的な課題を抱えたケース（例）

あなたがこの世帯から相談を受けたらどうしますか？



全体	地域から孤立 持ち家 祖父母の年金で生計維持
祖父	がん治療中 老齢厚生年金
祖母	要介護1 認知症の疑い 老齢基礎年金
父親	職を転々 ギャンブル依存の疑い 多重債務
母親	無職 障がいの疑い 養育能力が低い
子ども	不登校ぎみ 介護と家事全般を担う

このような複雑・複合的な課題を抱えた
ケースに対応するためには

分野を超えたチーム支援体制の強化

包括的な支援体制づくりが必要不可欠！

1-3 重層に移行すると何が変わるの？

* 令和7年度 全国473自治体（愛知県は30自治体）が重層事業に移行予定

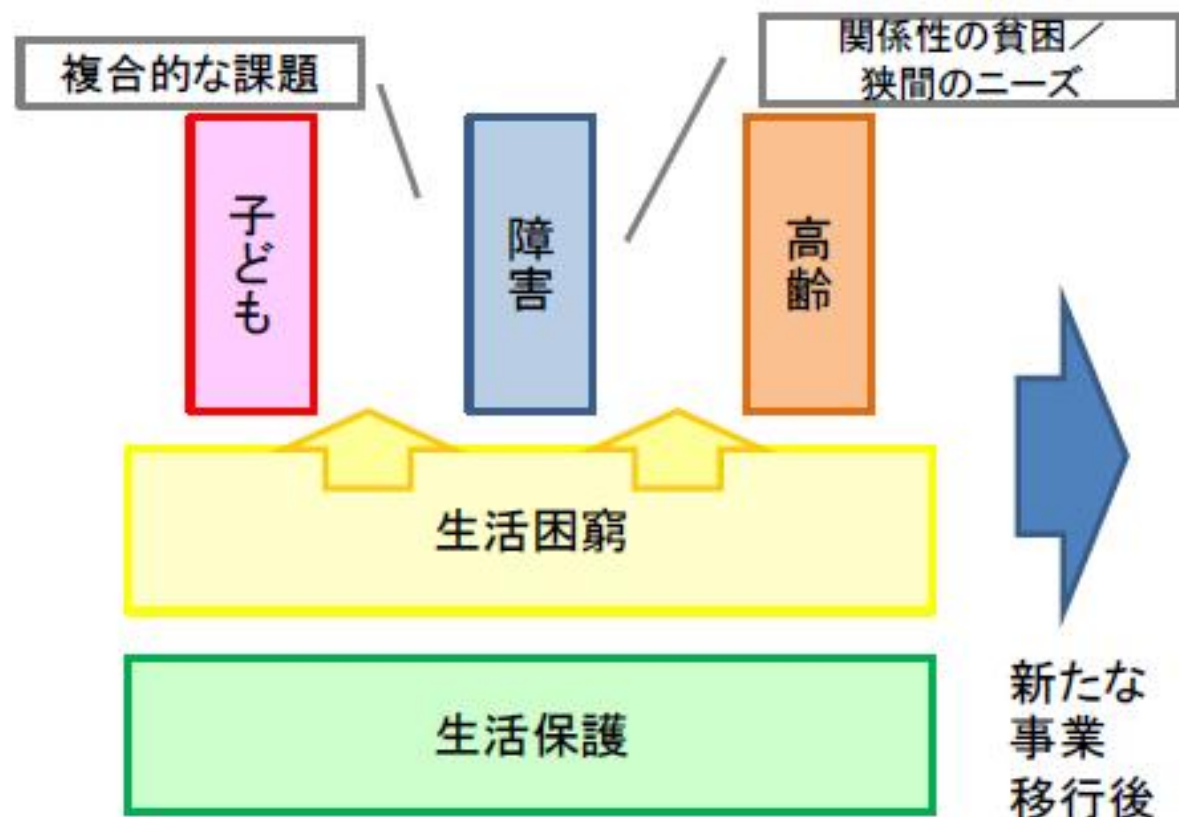
各事業の法制度による（属性や年代等の）縛りが
緩和されます！

分野を問わず誰もが（本業に支障がない範囲で）制度の狭間に
支援の手を差し伸べることが『可能』になります！

こんな感じになります！

(厚生労働省の研修資料より引用)

【移行前】



【移行後】 稲沢市はこっち↓



重層が充実すればするほど

『制度の狭間に落ちた困難ケース』や

『複雑・複合課題を抱えたケース』に

チームで迅速に対応できるようになります！



2 稲沢市の取組状況をご紹介します！



©稲沢市 いなっピー

2-1 稲沢市の取組状況

2-2 稲沢市が目指す『包括的な支援体制』とは？

2-3 支援者を支援する仕組み『稲沢市 e n モデル』

2-1 稲沢市の取組状況

- ・ 稲沢市は、令和4年度から 『重層に移行済』

(令和7年度 全国473自治体が実施予定 / 愛知県では、25市5町が実施予定)

- ・ 福祉課と社協（福祉総合相談窓口）が重層の推進役

福祉課 ⇒ 全体の調整役（財源確保、庁舎内連携、後方支援 等）

社 協 ⇒ 包括的な支援体制づくり（稲沢市e nモデルの充実）

複雑・複合的な課題を抱えたケースの支援調整

周知啓発（研修会の開催）、情報収集、社会資源の開発 等

8050 やヤングケアラー、ひきこもり、多重債務 等、
複雑・複合的な課題を抱えたケースのご相談は、
お気軽に福祉総合相談窓口までお寄せください！

2-2 稲沢市が目指す『包括的な支援体制』とは？

① 支援者を支援する仕組み『稲沢市 e nモデル』の充実

② どんな相談も『福祉の拠点』で受け止める支援体制

福祉の拠点：市役所 東庁舎 1階（福祉課と社協）の総称

社協の中に『福祉総合相談窓口』があります！

③ 分野を超えた支援者同士が繋がっている支援体制

みんなが『顔見知り（気軽に相談しあえる関係）』になるのが理想！

みんなで創る

『稲沢市の包括的な支援体制(重層的支援体制整備事業)』イメージ図 [実施主体:稲沢市]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第1の柱 誰一人取り残さない相談支援事業

(世代や属性を問わず包括的に相談を受け止める体制づくりとチーム支援の強化)

【関係部署】

学校
(スクールソーシャルワーカー)
病院
(医療ソーシャルワーカー)
社会福祉法人
消費生活センター
区民・民生委員さん
保護司さん
大家さん
(市役所 関係各課) 等

【高齢】

地域包括支援センター
基幹型地域包括支援センター
(高齢介護課)

【障がい】

基幹相談支援センター
相談支援事業所
(福祉課)

連携

【生活困窮】

福祉総合相談窓口
(福祉課)

【子ども】

こども家庭センター
子育て支援センター
(子育て支援課・保育課・健康推進課)

みんなで一緒に
支援(縁)の輪を
広げよう!!



◎3本柱の強化と一体的な
連動が重要!!

◎私たち全員が当事者です!!

第2の柱 参加支援事業

(社会との繋がりを回復するための支援策の充実)

福祉総合相談窓口・生活支援コーディネーター・企業・法人・団体 等

①見守り等居住支援の充実

②就労(準備)支援の充実

③多様な居場所づくり(人や地域との繋がりの場づくり)

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
(早期発見型アウトリーチの強化)

福祉総合相談窓口・生活支援コーディネーター

地域や関係機関との連携強化によって、ひきこもりや
8050世帯等、支援が必要な方を早期に発見し、適切な支援
につなぎます!



【稲沢市enモデル】

専門外の相談や複雑・複合課題を抱えた個人(家族)
の相談は、全て「福祉総合相談窓口」が集約し、適切な
支援に繋がります。

【福祉の拠点】福祉総合相談窓口(多機関協働事業)

支援の視点は、「家族の全体最適」と「チーム支援の強化(多職種連携)」

ステップ① ブラッシュアップ会議

(まずは、社協の専門職で複雑・複合課題の解きほぐし)

社協
(福祉総合相談窓口・基幹型地域包括支援センター・基幹相談支援センター・成年後見センター・生活支援コーディネーター)

ステップ② 稲沢市福祉総合相談対策支援チーム会議(支援会議) *関係機関

(市役所の専門職を加え、多角的な視点から家族全体の支援方針や役割分担等を更に検討します)

市役所(福祉課・子育て支援課・健康推進課) 社協 必要に応じて関係機関も参加

ステップ③ 稲沢市重層的支援会議(生活困窮者自立支援調整会議)

(稲沢市として支援方針や役割分担等の最終決定、支援の評価、不足する社会資源を検討します)

市役所(福祉課・子育て支援課・保育課・健康推進課) 社協



支援(縁)の輪



第3の柱 地域づくりに向けた支援事業

(地域の縁づくりと異業種が交流できるプラットフォームづくりの強化)

①世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備(多様な居場所づくり)

【高 齢】 地域介護予防活動支援事業(高齢介護課)・生活支援体制整備事業(福祉課)

【障 がい】 地域活動支援センター事業(福祉課)

【生活困窮】 生活困窮者支援等のための地域づくり事業(福祉課)

【子 ど も】 地域子育て支援拠点事業(子育て支援課)

②社会資源(共通価値)を共創する場の整備(地域貢献活動の活性化)

異業種が集う様々なプラットフォームの整備(福祉総合相談窓口・生活支援コーディネーター)

社会資源の創造 = 地域の困りごと × 地域の力 × みんなの想い



社協のHPから
ダウンロード
できます。

各種相談

↓
福祉総合相談窓口

↓
重層的支援体制
整備事業

↓
重層リーフレット

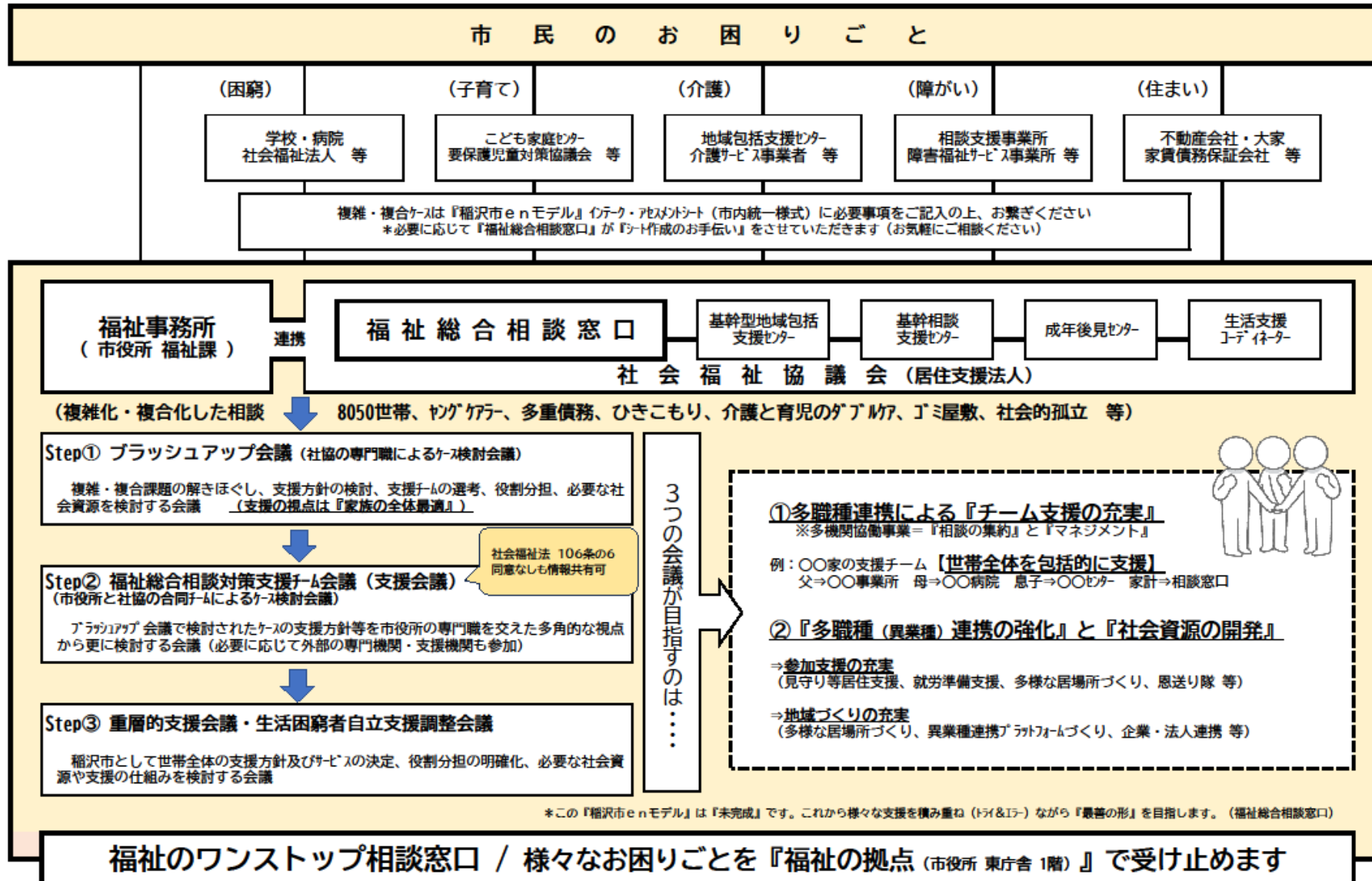
2-3 支援者を支援する仕組み『稲沢市 e n モデル』

【多職種連携のフロー図】

- ・ 複雑・複合課題の相談受付から支援開始までを可視化したもの
- ・ 福祉総合相談窓口が受付けた複雑・複合課題を抱えたケースは 『3段階のケース検討会議』 で支援方針等をブラッシュアップします！
- ・ これらの会議には、様々な専門職が集まり 『複眼的な視点』 から 『世帯全体の支援方針』 を検討します！

重層的支援体制整備事業 『稲沢市enモデル（多機関協働による『包括的支援体制づくり』の全体像）』（ver.3 2024/6更新）

【みんなで強化するポイント】⇒ ①支援者を支援する仕組み ②どこからでも専門機関に繋がる仕組み ③複雑・複合課題をチームで支援する仕組み



社協のHPからダウンロードできます。

各種相談

↓
福祉総合相談窓口

↓
重層的支援体制整備事業

↓
稲沢市enモデル

3段階の会議で支援精度を高めます！

各会議の検討視点は『世帯の全体最適』と『チーム支援の充実』

step①ブラッシュアップ会議（複雑ケースの解きほぐし及び支援プランの素案作成）



社協の専門職によるケース検討会議（新人相談員のOJT・SV機能を兼ねる）

step②福祉総合相談対策支援チーム会議（『支援会議』）



市役所の専門職を含めたケース検討会議（必要に応じ関係機関も参加！）

step③重層的支援会議（生活困窮者自立支援調整会議）

現場レベルで検討した支援プランや役割分担等を最終決定する会議

対策支援チーム会議（令和7年1月15日）の様子



この日は、豊川市の皆様が見学されました！

【ポイント】

対策支援チーム会議は、参加メンバーの

『スキルアップの場』でもあります！

ケース検討を通し

各分野のベテラン専門職の知識や経験、感性、
アセスメントの視点や関わり方のコツなど
支援のノウハウ（暗黙知）も学び合います！

3 つの会議では『ケース検討』を通して

『多職種連携の課題共有』や『e nモデルの改善』

『稲沢市に不足する社会資源の開発』

も検討しています！



元気になったら、今度は、あなたが、誰かを支えてください
令和5年度開発『稲沢市恩送り隊』～『ハピフォワード』の仕組み創り～

中日新聞
2023年(令和5年)7月11日(火曜日)

地域で助け合い「恩送り活動」



稲沢市の若手経営者らが、生活困窮世帯の困り事を解決する仕組みづくりに挑戦している。その名は「恩送り活動」。市社会福祉協議会の協力を得て、支援が届かないことで悩む市民と、地域貢献をしたい人々をマッチング。「支援を受けた人が元気になったら、いつか別の人を助ける。そんな良い縁をつなぎたい」と意気込む。

(寺田結)

稲沢の若手経営者ら 清掃など支援届かない人に困っている人と助けたい人マッチング

六月末、市内のある二戸建て住宅にメンバー三人が集まった。庭の草木が生い茂り、雨漏りの家や駐車場、通学路に飛び出して、通行を妨げている。三人は住人と相談した上で、清掃を開始。持ち込んだ機械を使って、一気に片付けた。

この家住むのは、ひきこもりの男性一人。処理するべきには分かってはいたが、近所の目が気になって外に出られず、放置せざるを得なかった。しかし、自治体の制度では現状に対処できないのが現状だ。そこで手を挙げたのが、市内でエスエヌの遺品整理の事業を営む山下雄基さん(三三)＝同市平和町。昨年秋、地域貢献ができないかと市社会福祉協議会に相談し、生い茂った草木を片付ける「恩送り活動」のメンバーとして参加した。

「地元で貢献したい人はたくさんいるのに、良い仕組みがなく、他市ボランティア団体が人が溢れていた」という山下さん(仲間をさらに増やし、皆で助け合えるようになったら良い)と願っている。参加希望者は、市社会福祉協議会に0587-23-6713へ。

福祉新聞→
令和5年7月25日

←中日新聞
令和5年7月11日

(本会のホームページに掲載)

東海・北陸
愛知県の稲沢市社会福祉協議会は、困窮者支援の一環として6月に「恩送り(ハピフォワード)」の活動を始めた。ハピフォワードとは「自分が受けた善意をほかの誰かに返してつないでいく」と。2000年に映画のテーマで取り上げられ、広まった。同社は恩送り隊の活動を通じて、サービスや制度のはさまの困りごとを支援の手を差し伸べる地域の共助やネットワークを育んでいく。

恩送り隊が始動 次の困窮者につなぐ

稲沢市社協

が市から受託している重層的支援体制整備事業の中の参加支援事業として取り組む。困窮者を支援するボランティア(企業や社会福祉法人など)を募集し、同社協の福祉総合相談窓口で支援が必要と判断された困窮者(引きこもりの人やヤングケアラーなど)に対し、庭の雑木の伐採、ゴミ屋敷の清掃、フードドライブ、居場所づくり、就労体験受け入れなどを行う。困窮者はいつか元氣になったらできる範囲で誰かを支援する輪を広げていく。

モデルケースとして1人暮らしで精神障害と白内障を患っている60代の男性毛、70代の父と30代の引きこもりの娘の自宅など、3軒の庭の雑木を伐採した。作業は商工会議所の有志が行った。

同社協はまずはモデルケースを示し、市民にハピフォワードの意義や効果を広めていく。加藤泰章・同社協相談支援包括化推進員は「活動を見える化してボランティアが集まれば拠点を増やしていきたい」と意欲を見せている。(覆戸新)



困窮者の庭の雑木を伐採する恩送り隊

『恩送り隊（稲沢市内の経営者や団体等の有志で結成）』は、
既存の制度やサービスでは対応できない、草木の伐採、
ゴミ屋敷の清掃、引越し支援などを 無償で行います！

- ・ 本業（仕事）の合間に活動するため、毎月の活動回数に上限があります
 - ・ 支援対象世帯は『生活困窮世帯に限定』しております
 - ・ 『恩送り隊』の相談受付は『支援機関からのみ』です
- 他にも諸条件がありますので、事前に福祉総合相談窓口までご相談ください

『稲沢市 e n モデル』は『発展途上（未完成）』

支援者（あなた）を支援する仕組み『稲沢市 e n モデル』を

より充実させるためには、現場の声、つまり・・・

『皆さん（あなた）との対話と協働』が必要不可欠です！

3 私たちの支援体制をみんなで創るために

3-1 もっと『対話』しませんか？

3-2 『福祉の拠点』に繋いでください！

3-3 私たちが重層推進担当です！



3-1 もっと『対話』しませんか？

現場の皆さんの声（助言や提案、協働）なくして

『私たちの包括的支援体制』は、創れません！



『稲沢市e nモデル』も

あなたの『思い』が反映されない

『絵に書いた餅（机上の空論）』では
ダメなんです！

皆さんの研修会や会議等にも呼んでください！

福祉の拠点にお越しになった際は、気軽にお声掛けください！（雑談大歓迎！）

『コミュニケーション（多職種連携）の充実』こそが、

『包括的な支援体制づくりの充実』に繋がります！

『困ったら、気軽に相談しあえる』、こんな仕組みを一緒に創りませんか？

3-2 こんなケースは 『福祉の拠点』に繋いでください！

『複雑かつ複合的な課題を抱えた世帯のケース』

『どこにも支援が繋がっていないケース』

『専門分野以外の相談で繋ぎ先が分からないケース』

『一つの世帯に専門機関がバラバラに関わっているケース』は

福祉の拠点（福祉総合相談窓口）に繋いでください！



一人で抱え込むのではなく、
みんなで一緒に考えていきましょう！

3-3 私たちが重層推進担当です！

気軽にお声掛け（お電話）ください！！

社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会

福祉総合相談窓口 多機関協働事業（重層推進）担当

相談支援包括化推進員 加藤・北上・林

稲沢市稲府町1番地（稲沢市役所 東庁舎1階 福祉の拠点内）

0587-23-6713（社協共通） / 0587-32-1484（相談窓口直通）

